



水道事業会計

令和4年度決算の概要について

収益的収支（3条予算） 【税抜き】

- ▶ 当該年度の企業の経営活動に伴い発生するすべての収益とそれに対応するすべての費用を計上します。

(単位：円)

	R4 決算額	R3 決算額	増減	R4 予算に対する執行率
水道事業収益	6,224,065,749	6,385,426,133	△161,360,384	99.0%
営業収益	5,662,860,925	5,921,697,318	△258,836,393	98.0%
営業外収益	559,854,148	452,563,669	107,290,479	110.1%
特別利益	1,350,676	11,165,146	△9,814,470	9,373.8%

	R4 決算額	R3 決算額	増減	R4 予算に対する執行率
水道事業費用	5,851,132,867	5,872,672,324	△21,539,457	96.7%
営業費用	5,740,157,371	5,744,541,732	△4,384,361	96.9%
営業外費用	110,370,531	126,716,148	△16,345,617	91.4%
特別損失	604,965	1,414,444	△809,479	12.5%
純利益	372,932,882	512,753,809	△139,820,927	—

収益的収支のポイント①

■ 水道事業収益

事業収入の総額：62億2,406万5,749円（前年度比1億6,136万384円の減）

◎主な収入：給水収益 50億7,741万1,160円（2億772万8,295円減）

他会計補助金 1億2,826万5,630円（1億2,672万3,666円増）

◎主な増減要因：給水収益の減少

⇒基本料金2箇月の免除にかかる減収分は、他会計補助金で補填されているが、有収水量の減少に伴い給水収益が減少したため。

■ 水道事業費用

事業費用の総額：58億5,113万2,867円（前年度比2,153万9,457円の減）

◎主な費用：原水及び浄水費 28億6,455万1,045円（1億1,179万8,206円増）

配水及び給水費 5億96万4,179円（4,327万3,804円減）

総係費 1億6,736万214円（6,871万6,947円減）

◎主な増減要因：原水及び浄水費の増加

⇒水道事業費用の総額は減少しているが、原水及び浄水費は増加

【原浄】修繕費 2億3,000万8,975円（6,371万3,318円増）

【原浄】動力費 1億6,513万6,697円（5,140万6,504円増）

新宿浄水場等にかかる修繕費や電気料金の高騰により動力費が増加したため。

収益的収支のポイント②

▶ 収益的収支

純利益：3億7,293万2,882円（前年度比1億3,982万927円の減）

⇒ 主な要因は、給水収益が減少したため。

▶ 1 m³当たりの供給単価と給水原価の比較

供給単価－給水原価：137.23円－146.62円＝9.39円の差損

供給単価：有収水量 1 m³当たりの水道料金

給水原価：有収水量 1 m³当たりにかかった費用

差損が出ている

⇒ 水道水を提供するための費用を水道料金でまかなえていない

資本的収支（4条予算） 【税込み】

- ▶ 市民に対するサービスの提供を維持するための諸施設の整備、更新など建設改良のための支出とその財源となる収入を計上します。

（単位：円）

	R4 決算額	R3 決算額	増減	R4 予算に対する執行率
資本的収入	860,985,630	884,511,300	△23,525,670	76.2%
企業債	600,000,000	700,000,000	△100,000,000	100.0%
他会計負担金	43,181,000	35,441,000	7,740,000	100.0%
工事負担金	140,034,630	63,146,000	76,888,630	35.3%
水道施設加入金	77,524,700	85,704,300	△8,179,600	86.7%
固定資産売却代金	245,300	0	245,300	24,530.0%
他会計補助金	0	220,000	△220,000	—
	R4 決算額	R3 決算額	増減	R4 予算に対する執行率
資本的支出	3,521,986,740	3,004,844,644	517,142,096	86.1%
建設改良費	2,814,379,999	2,302,896,018	511,483,981	83.3%
企業債償還金	707,606,741	701,948,626	5,658,115	100.00%
資本的収支の不足額	2,661,001,110	2,120,333,344	540,667,766	—

資本的収支のポイント①

■ 資本的収支

資本的収入：8億6,098万5,630円（前年度比2,352万5,670円の減）

⇒ 企業債の減少など。

主な収入：企業債 6億円（1億円減）

資本的支出：35億2,198万6,740円（前年度比5億1,714万2,096円の増）

⇒ 重要施設配水管及び老朽管を更新する配水管更新事業の増加など。

主な支出：配水管改良費 24億752万1,664円（3億9,122万4,253円増）

資本的収支の不足額：26億6,100万1,110円（前年度比5億4,066万7,766円増）

※不足額の補填財源

・ 消費税資本的収支調整額

⇒ 4条収支における消費税の差額：1億5,273万4,099円

・ 損益勘定留保資金

⇒ 減価償却費など現金支出を伴わない3条費用等：22億826万7011円

・ 減債積立金

⇒ 企業債償還に充てるため過去の利益を積み立てたもの：2億円

・ 建設改良積立金

⇒ 建設改良（工事など）に充てるため過去の利益を積み立てたもの：1億円

資本的収支のポイント②

▶ 工事の状況

布設工事：2,593m（配水管布設工事（大字増形）等）

改良工事：18,898m（重要施設配水管耐震化その他工事（大字鴨田）等）

原水浄水施設維持及び改良事業（新宿浄水場配水池修繕及び場内管路耐震化工事等）

- 予算では、布設工事を2,792m、改良工事を19,575m施工予定
⇒ 予定していた事業はおおむね実施することができた。

▶ 管路更新率（当該年度に更新した管路延長の割合）

1.29%（目標更新率は1.25%）

収益的収支と資本的収支の関係 (3条予算と4条予算)

3条予算



内部留保資金

損益勘定留保資金、
消費税資本的収支
調整額

減債積立金、建設
改良積立金、未処
分利益剰余金

4条予算

資本的収入

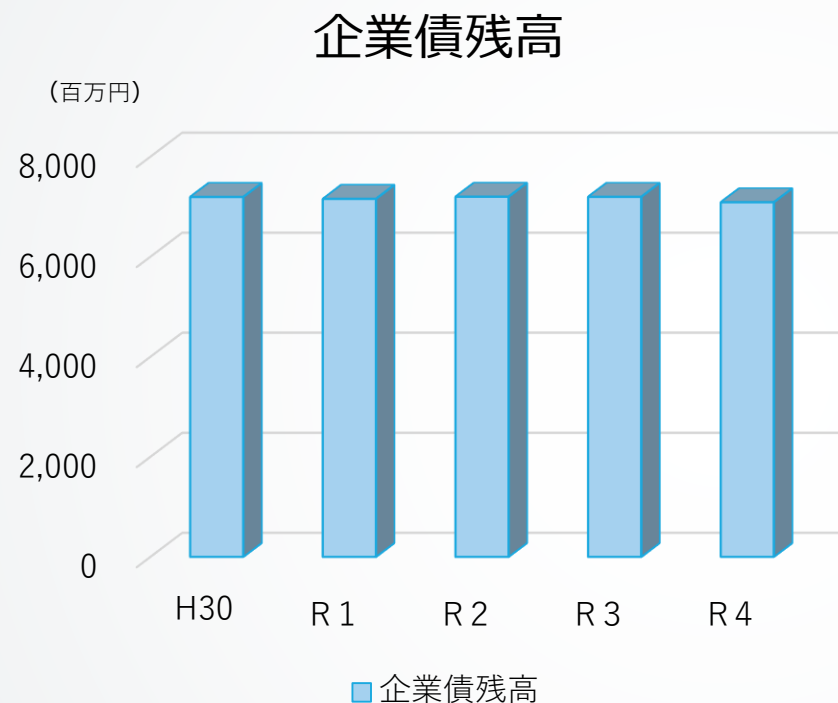
企業債、補助
金、負担金な
ど

内部留保資金
による補填

資本的支出

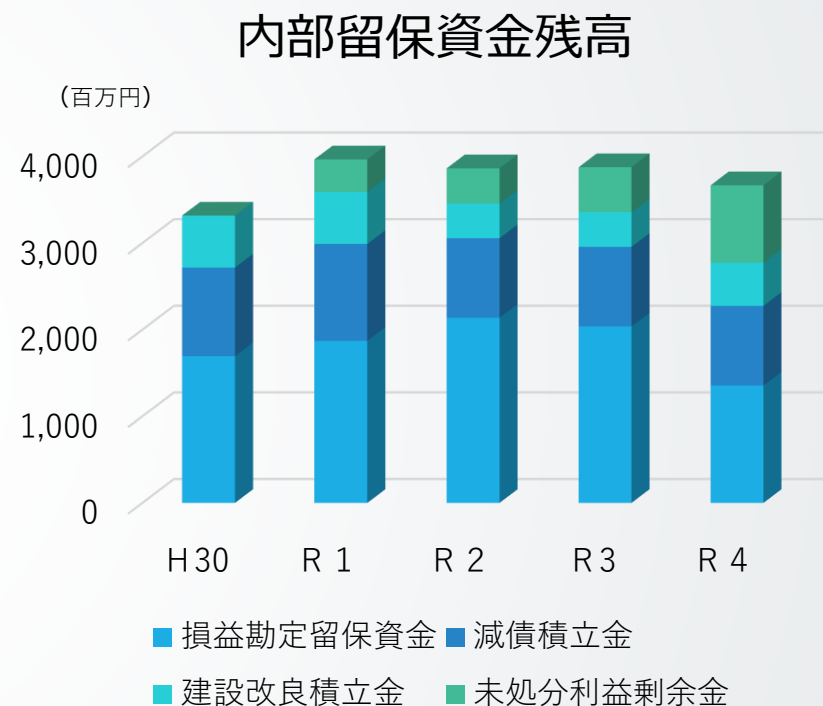
工事請負費、
企業債元金の
償還など

企業債残高と内部留保資金残高の推移



▶ 企業債残高（建設改良のための借金）

70億8千万円～72億円の間で推移しています。



▶ 内部留保資金残高（建設改良のための資金）

33億1千万円～39億7千万円の間で推移しています。

令和4年度決算のまとめ

■ 収益的収支

- ・ 水道事業収益において給水収益が減少したことや、電気料金の高騰などの影響により当年度純利益が1億3,982万927円減少した。
- ・ 水道水の供給費用を水道料金でまかなえていない（供給単価と給水原価で差損）。
- ・ 将来的には人口減少による給水収益の減少が見込まれる。
- ・ 近年の物価高騰などの影響を予測することが困難になっている。
- ・ これらを踏まえ、将来を見据えた適正な料金水準などについて検討していく。

■ 資本的収支

- ・ 工事など建設改良の増加により、資本的支出が増加しつつある一方、企業債残高は大きく増減していない。
- ・ 今後も、基幹管路の耐震化や老朽管更新などに伴い多くの資金が必要となる。